修了式の講話　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和５年３月２４日

今日で3学期が終了しますが、４月から始まった学校の1年間が修了します。

校長先生がいつも話をしていたよい子の約束の3つについて、振り返ってみます。

よい子のよの良いことをどんどんするでは、まずは挨拶です。いつでもどこでも誰にでも元気良く素敵な挨拶ができていました。信号機のある横断歩道でも、停まってくれた車の方にしっかり挨拶ができていて、すごいと思いました。

また今年も自学ノートを頑張った人がたくさんいて、全校の半分以上の人が自学ノートを持ってきてくれました。特に1年生は全員が取り組み多い人で五冊目の人もいました。

自学は、誰のためでもなく自分のためです。来年度取り組んでくださいね。

よい子のいの命を大切にするでは、毎日、マスク・検温・手洗い消毒をしながらコロナ感染対策をすることができました。コロナに感染した人もいましたが、学校のなかで広がることもなく、お休みしている人も家でリーモー学習をしながら頑張りました。また、交通事故や大きな怪我もなく元気に過ごせたことは命を大切にできたとうれしく思います。

そしてよい子のこの心を大切にするでは、下級生や友達に優しい声かけや手助けができていました。運動会やマラソン大会など体育的な行事でも目標に向かって粘り強く頑張り、友達への応援も頑張っていました。

WBCの侍ジャパンの試合を見た人を多いと思いますが、チームのために自分ができることを全力でがんばり、チームメートが失敗しても非難せず、「ドンマイ」と励まし、成功したときは、体全体で喜びを表していました。とても感動しました。鵜川小校のみなさんにも侍ジャパンのよチームのように、自分たちがやるべきことに全力を尽し、励まし合い、協力するチームになってほしいと思いました。

明日から10日間の短い春休みですが、新しい学年に向けての心の準備期間です。

これからもよい子の3つの約束をみんなが意識して、一人一人努力を重ねていけば、きっと素敵な鵜川小学校チームになれると思います。

この鵜川小学校の良き伝統を守り、さらによい学校を作って行くのは皆さんです。「皆さんの姿を見れば、鵜川小学校の良さが分かります。」と言われるようがんばりましょう。

　校長　　永草　いづみ